

JANOG39 Meeting 事後アンケート結果

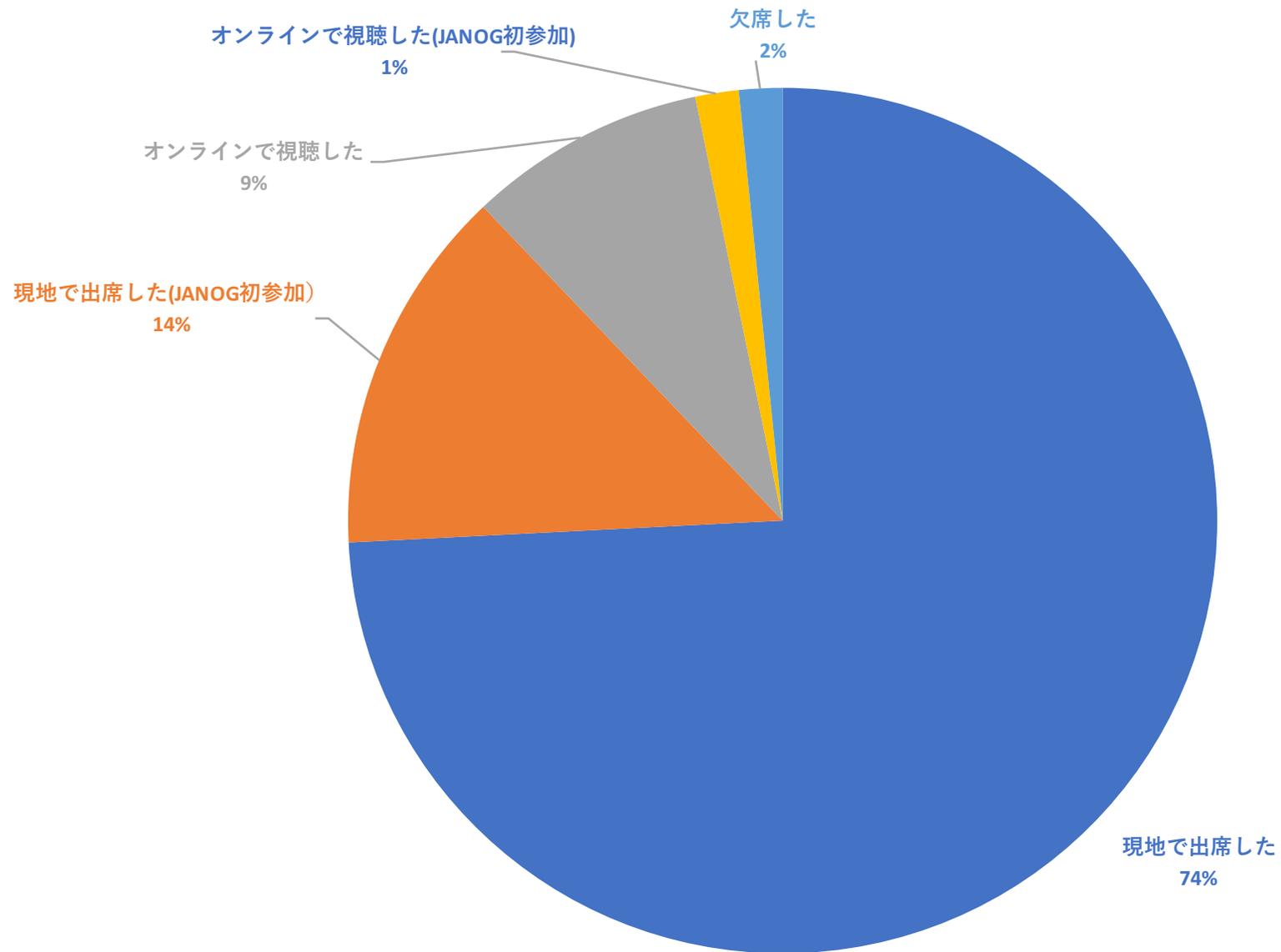
JANOG39 実行委員会

アンケート回答者数

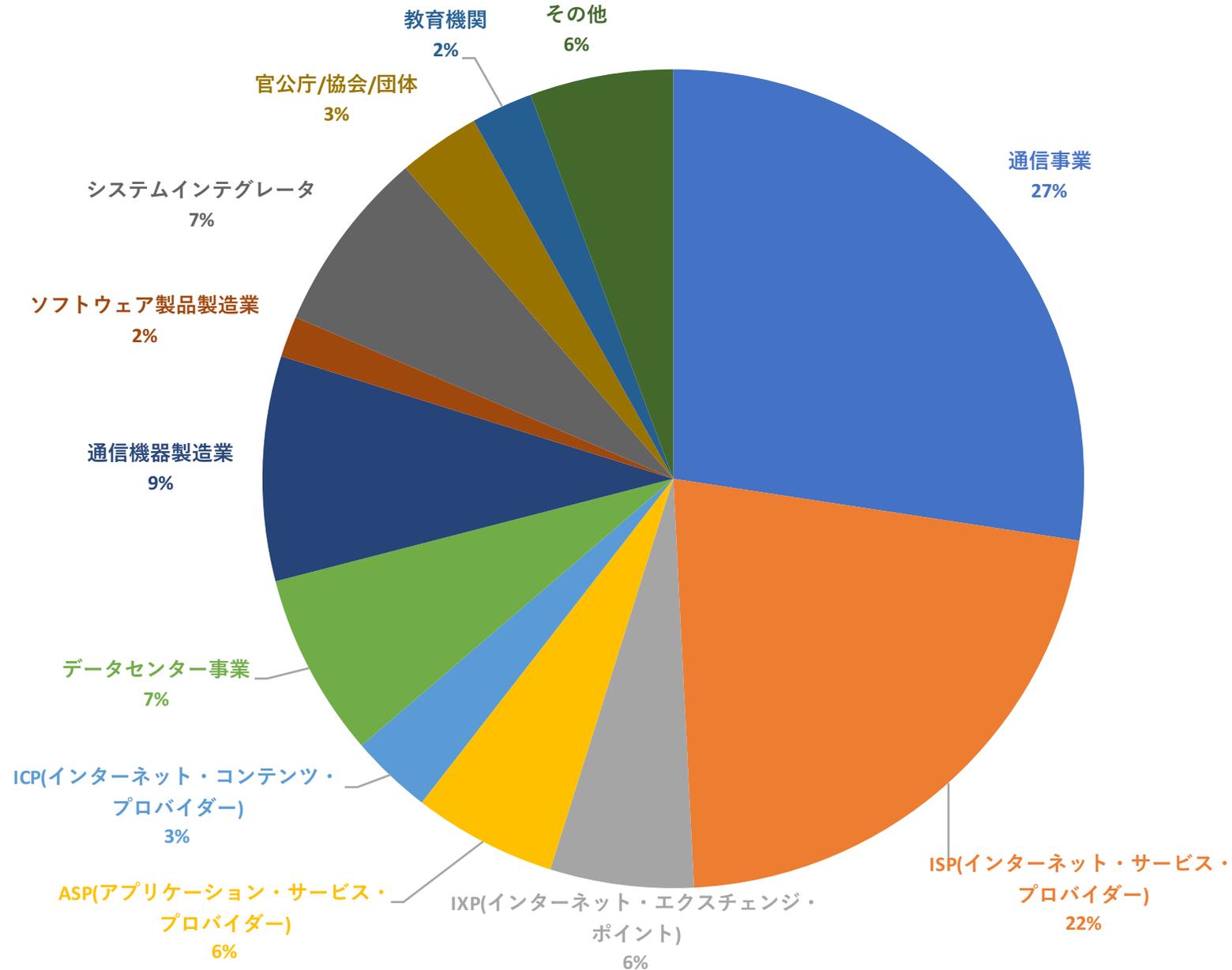
- 有効回答数: 124
 - 現地出席: 109 (初参加 17)
 - 中継視聴: 13 (初参加 2)
 - 不参加: 2
- 参考)
 - アンケート期間: 2017/1/20 - 2017/2/8
 - 本会議参加者数: 767

アンケートにご協力いただいた皆様、
ありがとうございました！！

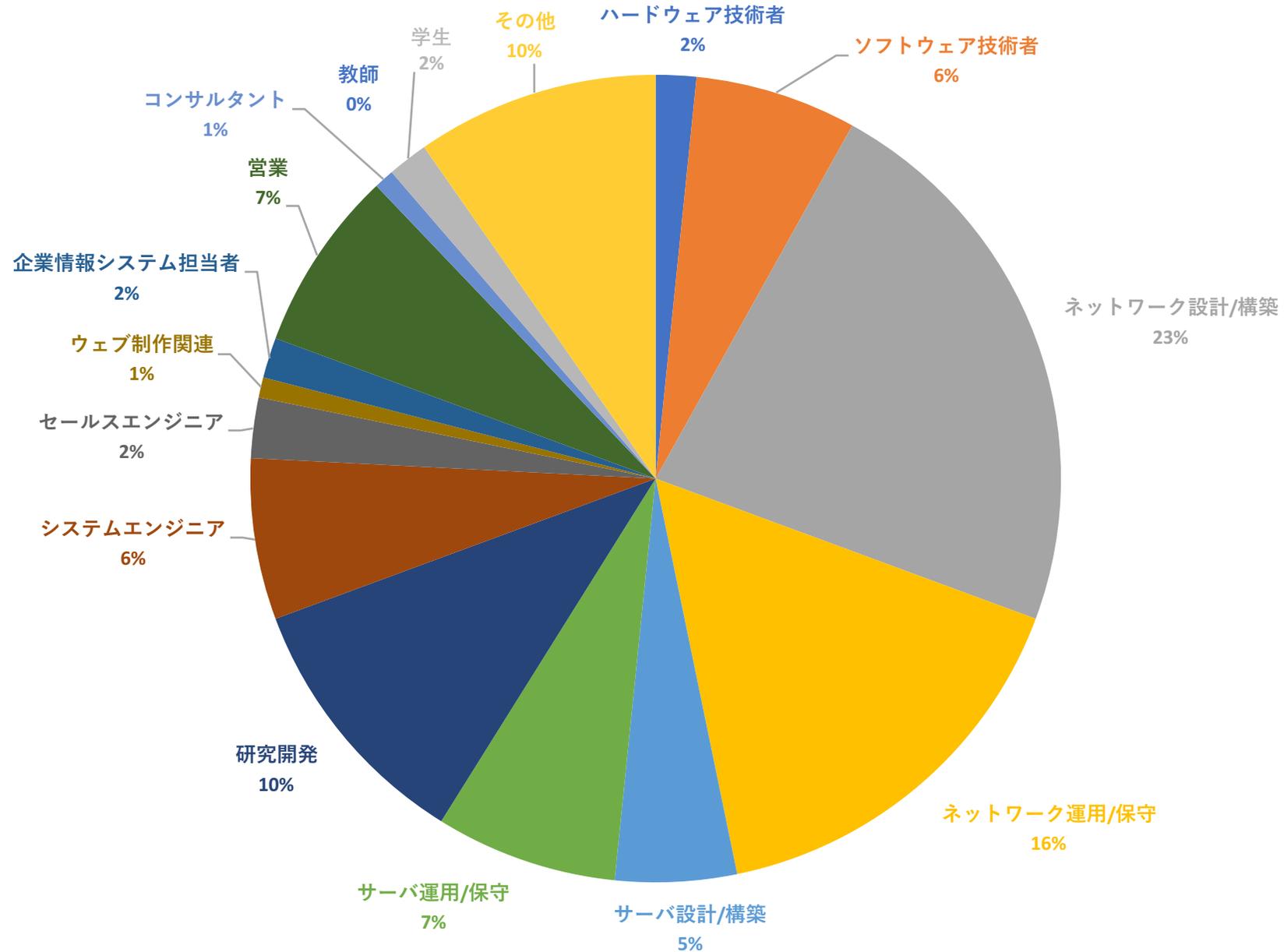
Q1. 回答者出席状況



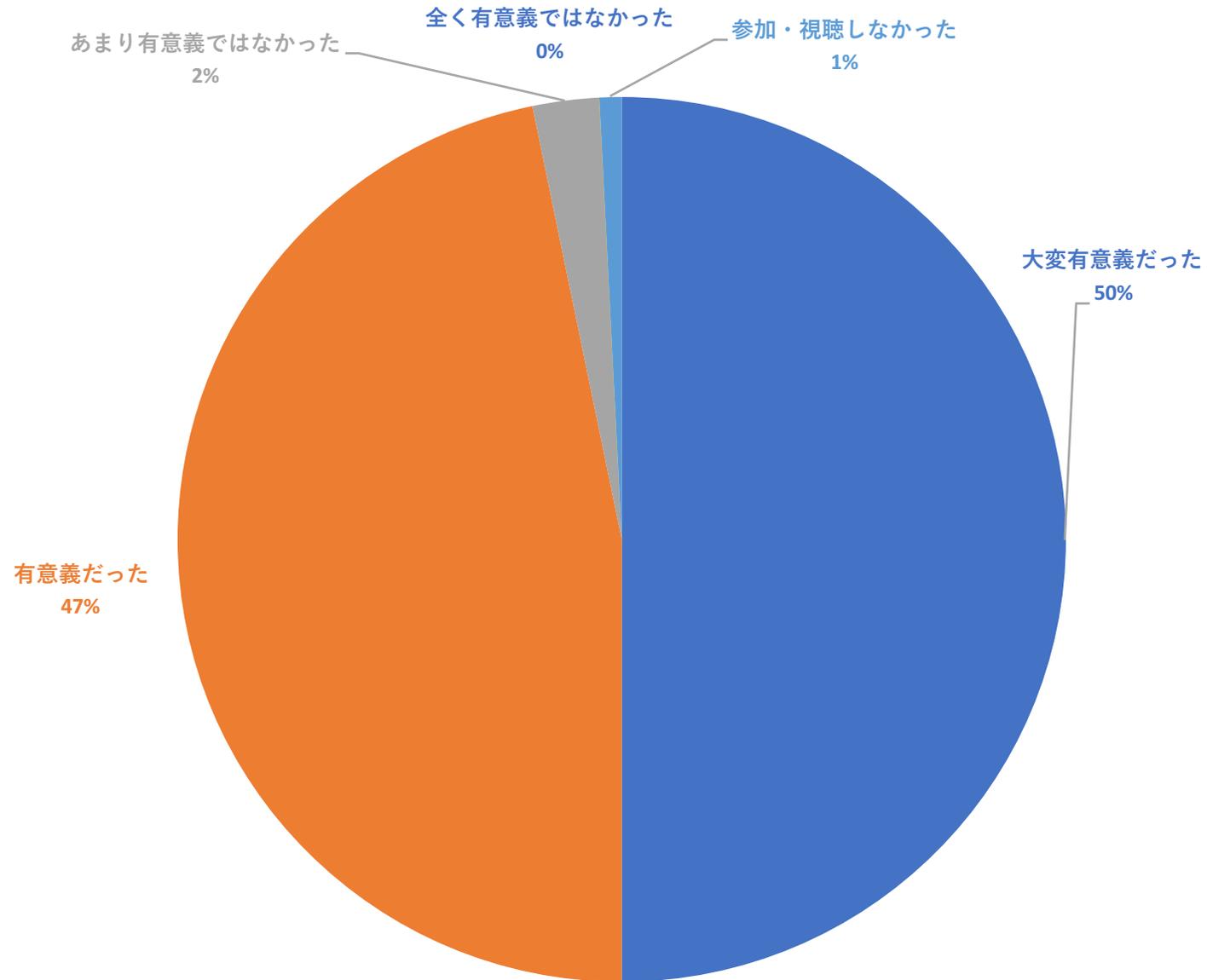
Q2. 回答者業種



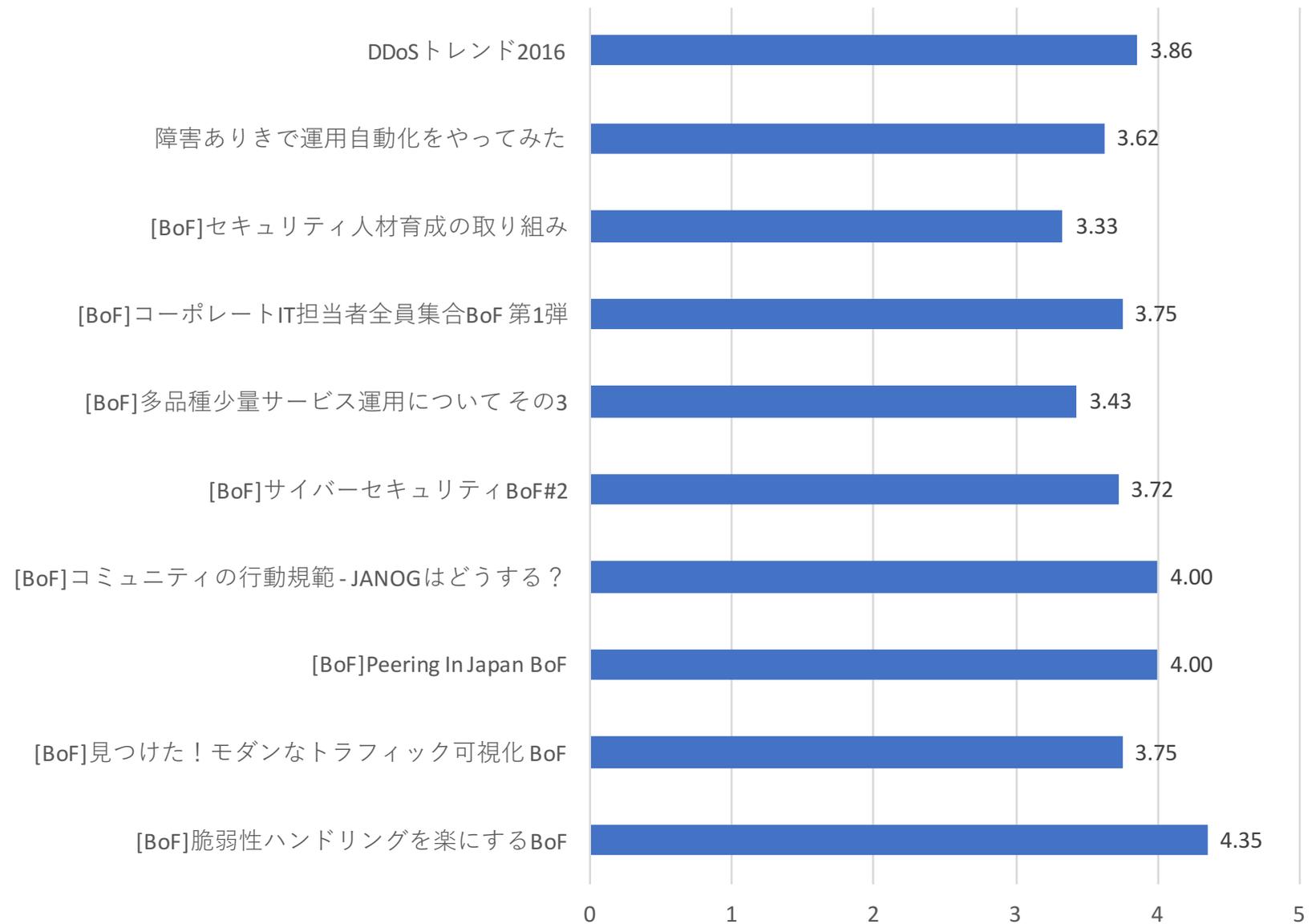
Q3. 回答者職種



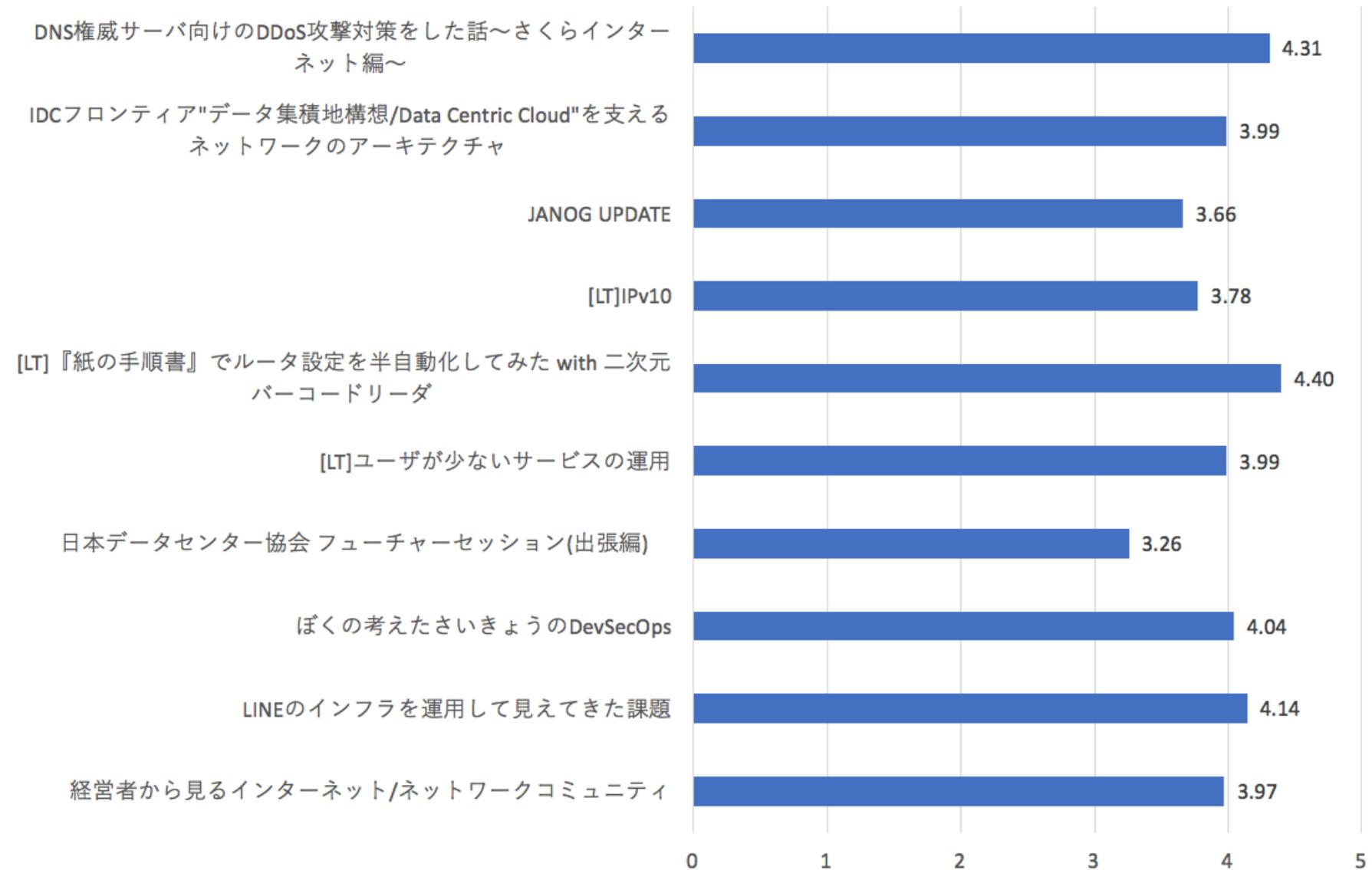
Q4. プログラムの全体評価



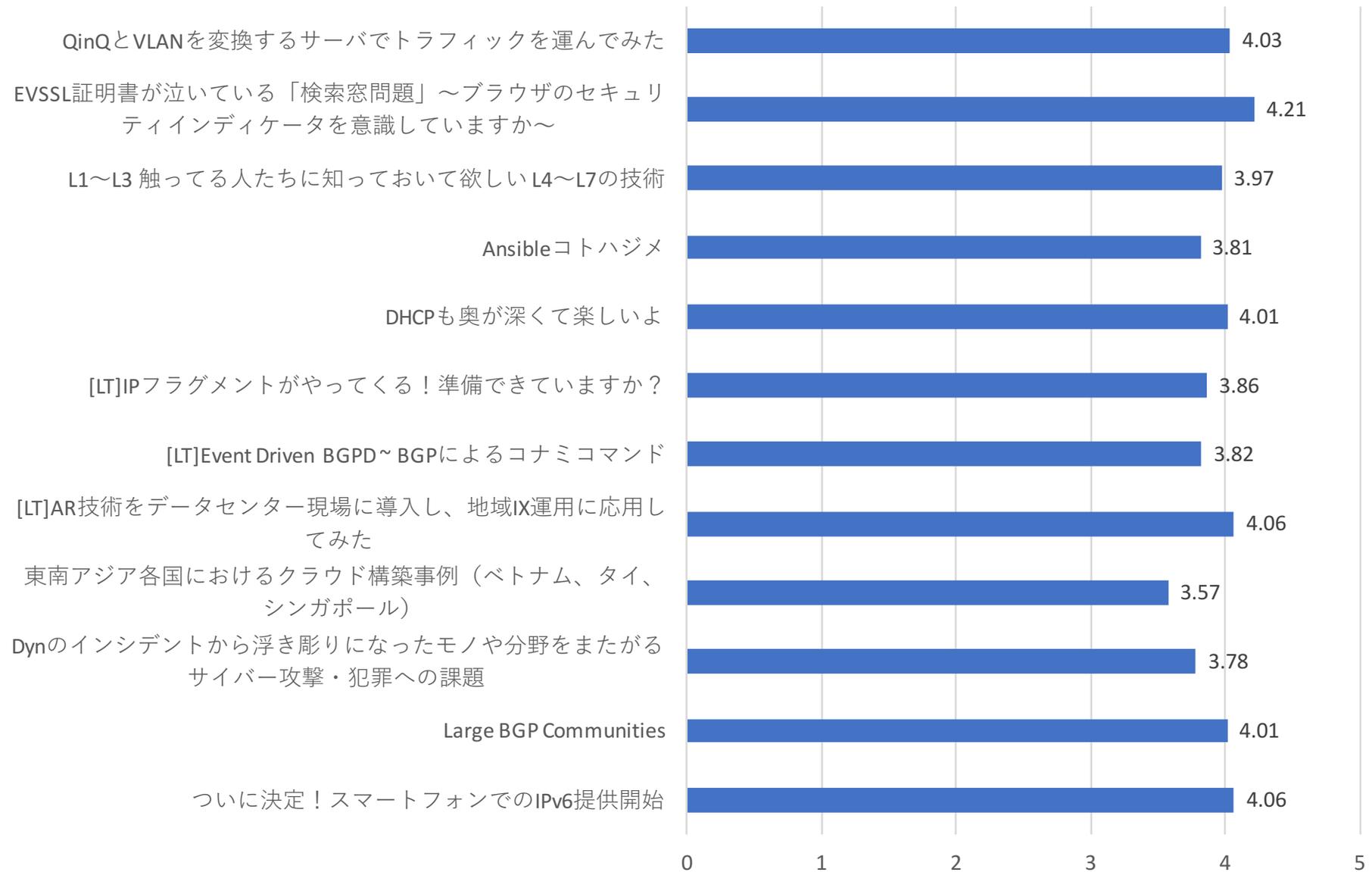
Q5. プログラムの個別評価 (Day1)



Q5. プログラムの個別評価 (Day2)



Q5. プログラムの個別評価 (Day3)



Q6. 各プログラムの感想や意見、今後議論したい内容 (1/4)

- ISPのNWの設計運用の話題があるとよいと思います。
- Twitterの#janogのつぶやきがリアルタイムに発表画面の下に流れる仕組みがあれば、議論が盛り上がると思います。
- 便利なツールやサービスを使用するための上層部への説得方法
- BoFはやっぱり進行役・発言者の声が聞き取りにくいですね。。
- モバイル関連のセッションがあるのは非常に良かったです。今後も充実させてほしい
- 今回経営層という技術以外の視点を持ったプログラムがあったのが非常に有意義だったと思います。今後もうこういったプログラムがあると良いと思います。
- 「サービスのたたみ方」のLTは「新たに作るだけではなく、運用の最終段階」についても意識を持つ必要があると思いましたので、良い内容だったと思います。
- ウケ狙いで内容の薄いプログラムが多くなったように思います。プログラム委員は応募内容の吟味に加えて、プログラム確定後であってももっと切り込んで、内容の薄いプログラムはメスを入れてもいいんじゃないでしょうか？頑張りに期待します。おつかれさまでした。
- 脆弱性ハンドリングのプログラムはすごく勉強になりました。DevSecOpsは「Vulsでこんなことやってみました」という発表の場でしかなく得るものがありませんでした。Vulsのイベントでやれば良い話でJANOGで取り扱う意味はないと思います。Dynのプログラムは大事なことを伝えようとしているらしいことはわかりましたが、上手く咀嚼できませんでした。なぜ、警察庁の方が話をするのかといったあたりの説明がほしかったです。

Q6. 各プログラムの感想や意見、今後議論したい内容 (2/4)

- 経営者から見るインターネット/ネットワークコミュニティ、面白かった。事例とかではなかったけど、伝えたいことがわかった。結果を出せ。刻みます。
- 企画系セッションで、登壇者の話で時間を使いすぎて質疑応答の時間が少なかったものがあり、残念であった。
- 懇親会は最終日がよい。最終日の発表について、登壇者に突っ込んだ話を聞いてみたいという要求はあるはず(事前公開資料からは読み取れない行間やその場限りの話など)。
- 秋山さんのケーブル・電源・コネクタの話し、何度かコミュニケーションミスの経験があったため、再認識できてありがたかったです。
- 経営者から見るコミュニティについて、どんな話が出てくるか気になっていたが、始終登壇者に対するコミュニティとはあまり関係のない質疑応答になっていた。テーマが非常に気になるものだっただけに、残念であった。
- BoFのコマを増やし並行に行われるものを減らしてほしい。(参加したいBoFが複数ある)
- デモをして頂けるセッションが多く分かりやすかった。
- トラフィック可視化 BoFは、ツールの解説が中心で「何を可視化するか」という目的意識がすっぱり抜けていた印象だったので、次回はそのような観点での議論があるとありがたいです。
- 参加のハードルが非常に下がる初参加オリエンテーションは大変ありがたい取り組みでした。おかげで単独参加であっても期待以上の得たものがあったように思います。
- 「[Day3] [LT]AR技術をデータセンター現場に導入し、地域IX運用に応用してみた」が切り口が斬新で面白かったです。安定運用を支える技術や道具に関する議論が増えるとよいと思います。

Q6. 各プログラムの感想や意見、今後議論したい内容 (3/4)

- 「ユーザが少ないサービスの運用」は身につまされました。サービスのライフサイクルを考えて、マイルストーン（振り返る時点）をきめるといったことをサービス提供前にできればいいんですが、なかなか難しいですよ。リアルなデータまで出てきたのには驚きました。勇気あるなあ。
- 実例が多いプログラムは面白いです。LINEさんや、さくらさんの発表が実例が多くてよかったです。
- DevSecOpsのセッションはフォントが読みづらいのが残念でした。特に "a" は致命的でした...
- 今回も見応えのあるプログラムばかりでした！
- 「経営者から見る～」について。亀山氏の人物や職歴を否定するものではありませんが、実直に技術に向き合っている多くのJANOGerたちの目指している世界や歩んできた道とは全く異なるように思いました。狙ってできるものではないように感じます。彼にとっては、インターネットはFXやアダルトと同じく、金儲けの道具なのだと理解しました。ホスト企業への感謝の意味で途中退席はせず最後まで聞いていましたが、飲み屋でするような話をわざわざJANOGでしなくてもよいのではないかと、というのが正直な感想です。田中さんや石田慶樹さんなど、技術者出身で経営者になった方たちの「インターネットへの愛」を将来の参考のために伺いたかったです。
- [Day2] 経営者から見るインターネット/ネットワークコミュニティはファシリテーションをするつもりが全く無く、亀山会長に好きに喋ってもらい、なんでも質問コーナーだったので、それならそうと、それに似つかわしいタイトル・アブストラクトにするべきではないでしょうか。

Q6. 各プログラムの感想や意見、今後議論したい内容 (4/4)

- もっとエンジニアコミュニティと経営層との関わりにフォーカスした内容を期待していただけない、がっかりしました。(ホスト企業様ですから、そういったコマが必要なのは理解します)
- IPv10と経営者から見る～はJANOG-Meetingでなくてもよかったと思う。(別のLTやプログラムにその時間をあててもよかったのでは?)
- 可視化BoFで紹介されていたものについて、モダンではあるが実際に導入するには敷居が高いものだと感じた。現在MRTGやCacti、Weathermapを使っている現場で、それを置き換える、または発展させるのに適した、モダンで平易な可視化ツールの紹介を次回以降期待したい。(わがまま)
- 発表20分・議論10分とかに区切って仕切っても良いかな、と。特に3日目は「続きは懇親会で」も使えず、議論の時間が足りていなかったように思える。発表者で時間管理お願いします、って話かも...
- BoFでセキュリティ関連のものが3つも開催されたため、有識者が分散してしまったように見受けられました。事前調整があるといいですね(時間帯をずらすなどでもよさそう)。
- もっとレイヤー高い人がきてくれるといいかと思いました。
- 何か定点観測したものを半年に一回JANOGの場でシェアできるといいかもしれませんねー
- 現状の課題を共有するプログラムが多くあり、大変参考になった。今後もこのようなプログラムがあれば良いと思った

Q6. オンライン配信・会場ネットワークに関する意見・感想 (1/2)

- 会場ネットワークは非常に快適でした。※同様の回答を数十件分まとめて記載しています
- オンライン配信で、音声が他の会場と重複が起きてしまっているのか、聞きづらいことがあった
- 電源供給席があるのは助かるが、使える人が限られて(一箇所ですら3-4人ぐらい)なのでもう少し使えるひとがおおくできるよう工夫が欲しかった。"
- ツチノコNOCのみなさん快適な環境ありがとうございました。事後資料として構成図とかトラブルとか公開してもらえるとうれしいです。
- 配信開始数十秒～数分、音声が切れているセッションがありました。
- また登壇者のマイクが離れがちになるため音量を上げて聞いていると、マイクに近い人の声がとても大きくなってしまったため、ちょっとつらかったです。
- オンライン配信が高品質で毎度感心し感謝しています。(勉強会などで私もやっていますがなかなか難しい)
- 会場ネットワークが時々不安定だった
- スライドが見やすかった。
- 会場のネットワークは快適に使用できました。VPN 越しの Remote Desktop も問題なく不自由を感じませんでした。
- ストリーミングで視聴しましたが、快適でした。

Q6. オンライン配信・会場ネットワークに関する意見・感想 (2/2)

- 会場ネットワーク、素晴らしかったです。過去最高レベルじゃないかなあ。
- 会場ネットワークはとても快適でした。相変わらずテザリングやモバイルWiFiらしきSSIDが見られましたが、それほど問題とはなりませんでした。数年前と比較して、このように快適な環境を実現できるようになった背景にはどのような工夫があったのか、ツチノコNOCの方々のお話をお聞かせいただきたいです。ツチノコプログラムの更新にも期待しています。
- もし余裕があったら、InternetWeekの時のようにNAT64のAPを提供したり、もっと進んで、デフォルトはNAT64のAPにしてしまおうとか、実験的な試みをしていてもおもしろいのではないかとおもいます。
- 毎回そうですが、WiFi AP の位置情報DBで、前に置いてあった場所(豊洲etc)がバレバレなのはどうしようもないですかね....。
- 大変良かった。スタッフの皆さんお疲れ様でした

Q7. ミーティング全体に対する感想、意見 (1/5)

- 2日目の最後のセッションが、色々な教訓も含め刺激があって、よい取り組みだと思う。このような技術者たるもの的なセッションも、毎回一枠あってもよいと思いました。
- JANOG内WGの立ち上げの案内をしてくれたらいいなと思います。
- アンケートで出席していないプログラムの評価ボタンを押してしまった場合、選択を削除できないので、選択削除できるようにしてほしい
- お疲れ様でした。
- 電源が使用できる席を増やす。パラレルセッションの参加できなかった方の内容を、何らかの形で知ることができるようにしてほしい
- 楽しすぎです！
- 会場でのセッション中にマイクが切れるのが非常に多く、その場で発表者が対応しているのが気になりました。おやつスペースなどと会場が2つに分かれてしまうのはちょっと不便でした。
- 首からぶら下げるネームカードが両面印刷でしたが、領収書や懇親会チケットで名前が隠れている人が散見されました。ネープレートの紙を折りたたみにして内側にチケット等を入れられるようにすることを検討してみてはいかがでしょうか。
- 名札が一点で留めるタイプのため、裏返って見えないことがよくあったので、二点で留めるタイプにしてほしいと思います。
- 壇上の隅に、SSID/Pass を表示しておいていただけると、多くの人にとってありがたいのではないのでしょうか。

Q7. ミーティング全体に対する感想、意見 (2/5)

- ランチタイムはずらしてもらったほうが、現地の方のランチタイムと被らなくてよいかも。ランチタイムのLTや複数会場並列はつらいです。聞きたいのが被るとどうしようもない。
- とてもよい場でした。次回も楽しみにしています！
- セキュリティネタをBoFに押し込みすぎだと思います。せめて時間を2枠にわけて、分散してもらえるとよいと思います。
- 懇親会: お料理美味しかったです。地酒は(会費が多少高くなってもいいので)もっと量が欲しかったです！
- 懇親会で人があふれすぎ、皿を置くスペースもない状況になったのが残念でした。
- 懇親会会場はもう少し広い場所を取っていただいたほうが助かります。
- 内容の浅いプログラムが増えたように思います。
- 新しい試みもあって楽しかったです。
- 椅子やテーブルがある業務のできるスペースがあればうれしい。
- スポンサーブースの見所をそれぞれ3分程度で紹介する枠があるとブースに立ち寄る人が増えると思う。
- 展示ブースが2つに別れたら、短時間の休憩時間では周りきれない。
- 本会場側から展示ブース棟への動線が微妙だった。
- new comer に対する取り組みは今後も継続を期待します。できることがあったら手伝いたいと思いました。各プログラムも大変興味深く、刺激になり、社に戻っての改善に生かせるようにしたいと思います。

Q7. ミーティング全体に対する感想、意見 (3/5)

- 最終日後半の進行に遅れが少しずつ出てきましたが、最終日は帰りの交通機関の時間の都合もありますので、質疑応答は時間通りに打ち切って、時間通りに終えて頂けると助かります。過去にも最終日最後の発表がとても興味深いものだったのにもかかわらず、途中で帰らなくてはならなかったことがあります。よろしくお願い致します。
- 私もインフルエンザA型にかかってしまいました。3日目は自分の含め、けっこう咳をしている人が多くて、やばいなあとおもっていたのですが、土曜日に発症しました。原因として（本人の不摂生はおいておくと）会場の乾燥、会場内の水分補給の禁止もあるのではないかと。蓋つきの飲み物はO.K.とか、許してもらえると若干は違っていたのではないかと思います。（まあ、会場のレギュレーションなので、難しいとは思いますが）
- 初参加でした。興味深いプログラムが多く、大変有意義な時間を過ごすことができましたが、JANOGの空気に触れ、感じる事ができたのが、一番の収穫かなと思います。ただ、別のものにも触れてしまったようで・・・自分の認識の甘さが招いたことですが、インフルエンザに罹患しました。基本的な対策は自己で行うという認識でおりますが、インフルエンザの主な感染経路は飛沫感染と聞きます。また、予防接種を受けたからといって完全に感染が防げるわけでもないようです。疑いがある方がマスクをするだけで、大きくリスクを減らせると思いますので、運営側にてガイダンスしていただけると助かるかなとも思いました。本会議の参加者は第一線で活躍するスペシャリストが多いと認識しており、本会議中の感染拡大や事故などは各企業様、日本のネットワーク業界においても、決して望ましいものではありません。JANOGのさらなる発展のためにも不測の事態に備えるべく、医療担当者を置き、医療従事者監修のもと、現地医療機関との連携、感染症対策、AED講習などについて協議されてみてはいかがでしょうか。すでにそのような対策を行われているようでしたら、若輩者の戯言と受け流していただければ幸いです。今後のミーティング運営にてご配慮いただけますと幸いです。最後となりますが、運営スタッフのご尽力のおかげで生涯の思い出になるような3日間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

Q7. ミーティング全体に対する感想、意見 (4/5)

- 会場内への飲食物持ち込み禁止について、会場諸注意を聞いていない人にはうまく伝わっていないように思います。会場やホスト企業にご迷惑をおかけすることは避けたいですが、個別に注意を促すことには躊躇および限界があります。会場扉、お茶ポットや自販機への掲示など効果があるかもしれません。
- ファシリティへの意見: (どうしようもないですが)会場内でペットボトル飲料も不可なのが地味に辛かったです。あと、お茶・コーヒーを提供していただけるのは大変ありがたかったのですが、熱すぎて短めの休憩時間だと会場に持ち込めないのと相まって、飲めなかったりすること…。(こちらもどうしようもないですが)椅子が硬くてお尻・腰が痛かったです…。
- プログラムの紙: やはり、配布していただきたいです。ないとPCやスマホで何度も確認することに。
- BoFの会場が隣接していて隣の会場の声が大きく集中できなかつたり聞き取れなかつたりしたので、なるべく配慮いただければ幸いです。
- BoF: BoFの前のコマの直後(休憩の前)に「このBoFではこんなことやるよ」というのを、持ち時間1分程度で説明してもらえると、どこに行くか考えやすいとおもいます(今回は[janog:13741]を事前に出していたので、それを休憩時間にプロジェクタで表示しておく、でも良かったかもです)
- 今回、会期中にインフルを発症している人もいたそうで、せっかく金沢まで来たとか、金沢に行きたいという気持ちはとても分かりますが、無理して座っている人もいたのではと思います。結果、インフルPandemic状態だったので、一般的な会合で実施されているのと同様に、まず基本的にうつす可能性がある人の参加自粛のお願いをJANOGとして伝えること、マスクの着用やウガイ手洗いの推奨、全ての会場・会議室入り口への消毒剤の設置(しっかり目立つ動線上に置く)といった具体的な対処が必要なのではないでしょうか。ちょっとそうした対応が少なかった印象ですね。

Q7. ミーティング全体に対する感想、意見 (5/5)

- サーバ運用の世界では、JANOGのようなミーティングがないので、羨ましく思います。日本のインターネット全体の品質向上に向けて、これからもがんばってください。
- 回を重ねるごとに、参加者が増えて、イベントのハンドリングの難易度が上がっていると想像しますが、非常にうまくハンドリングされているように見えます。これからもがんばってください！応援してます！
- 冬はノベルティでマスクを配布しましょうw 自分もインフルで1/23週死んでました
- 運営の皆様、お疲れ様でした。懇親会での若者支援プログラム紹介は、本会議での紹介の方が向いていると思いました。懇親会ではあまり舞台に注目が集まっていなかったのが残念。
- 若い力が運営している姿がステキです。おじさんは若い力がその意欲を発揮できるように陰ながら応援するスタイルがいいのかなぁと思います。
- 東京での開催を復活してほしい。地方での開催の重要性は理解するが、東京での開催も重要ではないか。
- 今回は会議参加後にA型インフルエンザに罹患した人数が多く、JANOGパンデミックの様相を呈しておりました（当方も罹患しました）。原因の一つとして、本会議場と展示ブースの湿度がきわめて低かったことがあるように思いました。ある程度やむを得ない部分があるかと思いますが、冬のJANOG Meetingにおいてしばしば発生しておりますので、今後ご配慮いただけますと助かります。
- JANOG参加でインフルエンザが流行ってしまったのか甚だ疑問。SNSなどでJANOGが悪者になってしまっているのを見ると心が痛む。